

～地域に生きる～

すぎの子はったつ通信

No. 4
2019年2月発行



～療育での取り組みを家庭・地域へ～

療育では、個別の目標に合わせて、お子さまの『わかった!』『ひとりでした!』という成功体験を大切に、スモールステップで様々な支援に取り組んでいます。

今回は、実際に療育から家庭へ取り組みを広げられた保護者様にご協力いただき、ご家庭での具体的な取り組み内容を皆様にもご紹介させていただきます!



<Oさんの事例>



療育での取り組み



時間割の準備やお道具箱の管理、ロッカーの整理など、年齢が上がるにつれて、自分の持ち物は自分で管理することが求められるようになります。



そのため、療育でも荷物の準備や片付けに取り組んでいます。

一人ひとりに合う支援方法を保護者様と一緒に検討します。

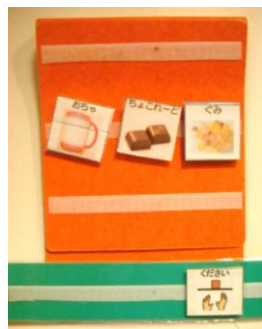
家庭での取り組み



家庭でも、お子さんの荷物を置くスペースを作られました。

園で必要なものが1ヶ所にまとめられていて、何を、どこに置いたら良いのか、分かりやすいですね!

療育での取り組み



療育では、他者とコミュニケーションを取る手段の一つとして、絵カードを使用して、適切な表現方法で相手に意思を伝える練習をしています。伝え方が分かることで、パニックが減る場合もあります。

家庭での取り組み



お子さんがより明確に意思を伝えられるよう、興味の高いおやつ場面で、家庭でも絵カードを導入されました。絵カードを使用することで、受け取る側も何が欲しいのか、理解しやすいですね!



<そのほかの取り組みについて>

家庭での取り組み

今からどこで、何をするのか
予定が一目見て分かるように
予定表を作られました。



今日行く場所もお子さんが好きな
トーマスのテープで囲ってあり、
お子さんが予定を見たくなる
工夫がなされています♪



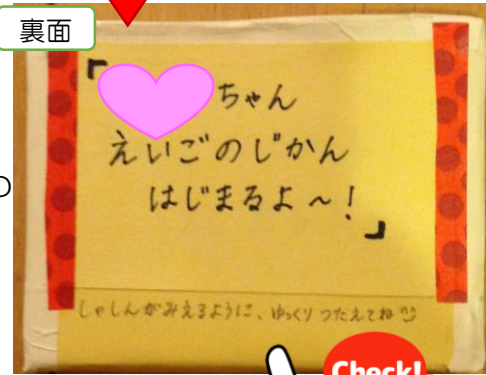
家庭での取り組み

表面



他のお子さんが見ても
分かりやすいよう、
写真の裏面に声かけ時の
セリフや提示の仕方が
記載されています。

裏面



Check!



<地域生活につながる支援について>



療育での取り組み

療育は、基本的にはマンツーマンで実施しますが、それぞれの目標に合わせて、同じ時間帯に利用されているお子さんと一緒に、グループ活動をする方もいます。また、手順を見ながらお買い物の練習をしたり、レシピを見ながらクッキングに取り組まれる方もいらっしゃいます。

個別で習得したことを、まずは療育場面で実践し、
成功体験を積むことで、家庭や地域生活にも
つなげていきます。



できたよ!



最後までご覧いただき、ありがとうございました!

ご紹介はほんの一部でしたが、療育での支援をもとに、お子さんが得意なスキルを生かして
取り組める工夫を考えて実践された事例ばかりで、スタッフも勉強になりました。
今後も様々な情報を発信していきたいと思っております。お楽しみに!

